

令和4年度 第1回西宮市民ファミリーハイキング事業報告

奥アンツーカ（株）

【実施日時】 令和4年4月10日(日) 10:00~12:00

【実施概要・コース】



今年度の第1回ハイキングは、春らしい陽気に恵まれた中、開催となりました。

10:00に北山植物園入口に集合、お申込み57名、参加58名(当日欠席1名、飛び入り参加2名)で実施しました。

まずは、バス道を北山貯水池に向かって進む登り道です。鷲林寺町交差点の手前まで、軽く汗をかいたあたりで、大きな岩が道の真中に陣取り、道を左右に分けている夫婦岩と呼ばれるところまでやってきました。

その夫婦岩を過ぎると坂道がゆるやかになり、鷲林寺町の畑やビニールハウスが広がる風景に変わります。所々に広がる野菜の直売所を見ながら、甲山墓園の入口で小休止して、北山貯水池に向かいます。

この北山貯水池は、昭和43年(1968)に完成した人造湖で、市民の水がめの一つ。おもに仁川の水(ここから北へ1.5キロの仁川湯口から導水管で引いています。)

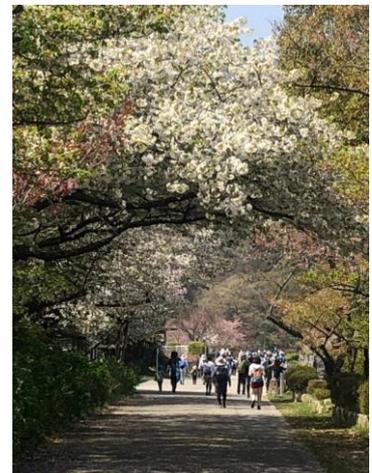
と観音寺川の水を引き込んでできた人造湖です。貯水池からの放水路は銀水橋付近で夙川上流に注いでいます。

貯水池の周囲は桜の名所で、この日も散り始めではありましたが、花吹雪の中、歩きながらシンボルの枝垂桜をはじめソメイヨシノなどの花見をしばし楽しみました。

その後、貯水池を一周して、いったん解散、希望者十数名が、町名のもととなった鷲林寺へのきつい坂道に挑戦です。

鷲林寺は、天長10年(833)弘法大師の創建と伝えられています。その昔、全山に76坊を数えたという堂宇伽藍も戦国時代の争乱で失われ、

現在では木立の中に観音堂がひっそりと建っています。境内の紅葉は有名で、参道脇の墓地にある石の七重塔は市内最古の石造遺品として市の文化財に指定されています。





この日は、約30分近くをかけて驚林寺に到着、大木と清水がつくる心地よい境内で一休みした後、ふもとまで下りて解散となりました。

【当日経路】(地理院地図より)

